

**東芝ライテック(株)横須賀 サイトレポート情報**

所在地	: 神奈川県横須賀市船越町一丁目201番1
敷地面積	: 敷地面積:43,256m <sup>2</sup> 、建家面積:54,154m <sup>2</sup> 、緑化率7.6%
設立	: 1989年4月、従業員:616人(2014年4月現在)
主要製品	: ジュメットワイヤー、照明用コイル、産業用照明機器
ISO14001認証取得	: 1996年10月、最新更新年月:2014年10月 (ISO認証番号:EC99J2026)



**ごあいさつ**

東芝ライテック(株)本社横須賀地区は周辺を住宅・商店・小中学校、更に東側は海に面し海上自衛隊基地が隣接された立地条件の中で事業を展開しています。主力製品はジュメットワイヤー、照明用コイル、照明関連製品の製造で、事業部では住宅、店舗、オフィス、屋外、舞台、スタジオなど様々なシーンに応じたLEDをはじめとする各種光源、照明器具、照明システムの事業を展開しています。



環境責任者 桧垣 和利

**2014年度の環境の主な取り組み**

- 環境保全体制の充実
  - ・法令、条例の順守(水質等定期測定)・現場管理の強化(日常点検)
- 環境調和型製品の開発
  - ・エクセレントECP売上高向上 実績354億円(目標236億円)
  - ・製品技術監査の実施 4/4件実施
  - ・製品含有物質の管理 実績2.9万件(目標2.6万件)
- 環境保全設備の改善と管理の向上
  - ・環境設備改善 2/2件実施
  - ・水資源の有効活用 実績1.19千m<sup>3</sup>/億円(目標1.34千m<sup>3</sup>/億円)
- 廃棄物の削減
  - ・原単位削減 実績8.6t/億円(目標11.0t/億円)
  - ・ゼロエミ継続 実績0%(目標0.35%以下)
- 省エネルギーの推進
  - ・原単位削減 実績219t-CO<sub>2</sub>/億円(目標266t-CO<sub>2</sub>/億円)
- スタッフ・技術部門における環境改善テーマの推進
  - ・各部門1件テーマを掲げ推進
- 生物多様性の推進
  - ・元の生息地である小網代の谷へハマカンゾウ返還式を実施。
- 全員参加・啓発活動の展開
  - ・環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓蒙活動、廃棄物立会い、構内外清掃等

**製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介**

LED電球



住宅用シーリングライト



LEDスポットライト



LED電球ハロゲン形



## 環境方針

### 東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝コミュニティー・ソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

#### 2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

#### 3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

#### 4. 東芝ライテック株式会社はスマートコミュニティー事業を通して、環境配慮都市の構築に貢献します。上記東芝グループ方針に加えて当社の事業分野である、照明商品、照明システムの製品開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

- (1) 環境調和型製品（ECP）、さらには業界トップの環境性能を誇るエクセレントECPの創出・普及により、製品やシステム全体における省エネルギー、資源有効活用、有害化学物質削減を推進します。
- (2) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電力、天然ガス等の使用量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量を抑制します。
- (3) 水質・騒音等にかかわる施設について、管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めます。
- (4) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- (5) 地域社会と連携し、各生産拠点で生物多様性に向けた環境活動展開し、自然との共生を図ります。

2014年6月24日

東芝ライテック株式会社  
取締役社長

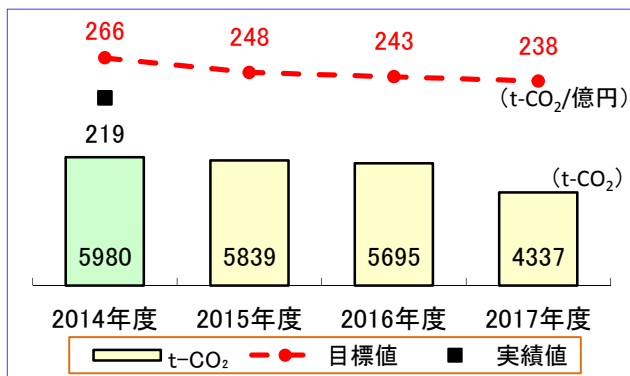
揖斐洋一

環境目的・目標

取組み項目		2015年度	2016年度	2017年度
地球温暖化防止	エネ起源CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	248	243	238
	物流CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	3.82	3.80	3.79
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	11.0	10.9	10.7
	最終処分率の管理(%)	<0.35	<0.35	<0.35
	水受入量原単位の改善(千m <sup>3</sup> /億円)	1.38	1.37	1.35
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	2.34	2.32	2.29
生物多様性	生物多様性の推進	他企業との 希少種保護開始		希少種の 返還

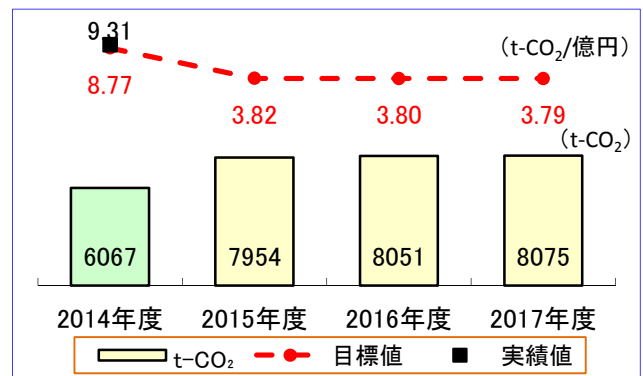
環境負荷データ

エネ起源CO<sub>2</sub>

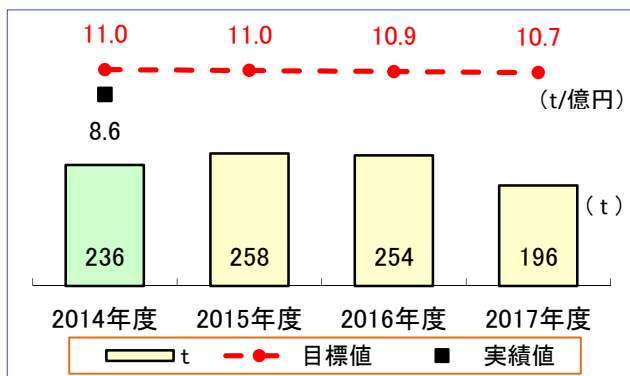


物流CO<sub>2</sub>

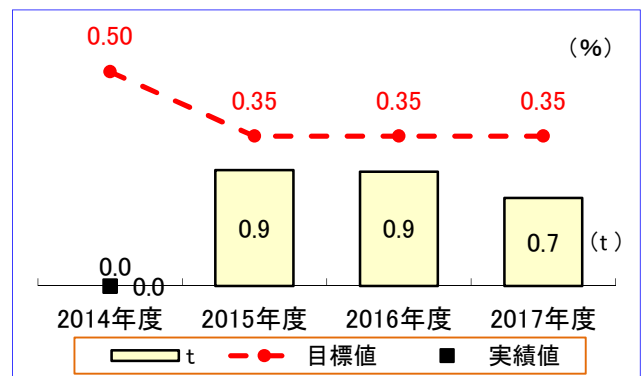
※2015年度より生産高から販売額へ指標を変更



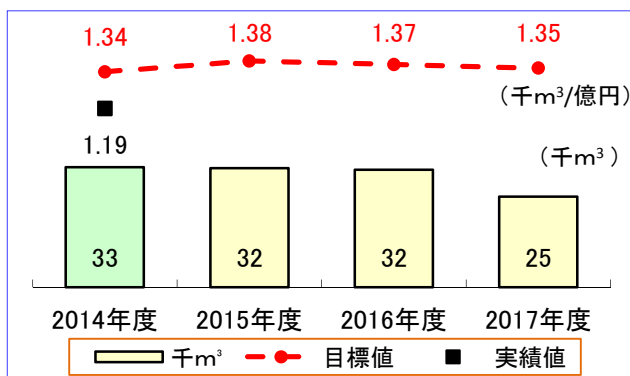
廃棄物総発生量



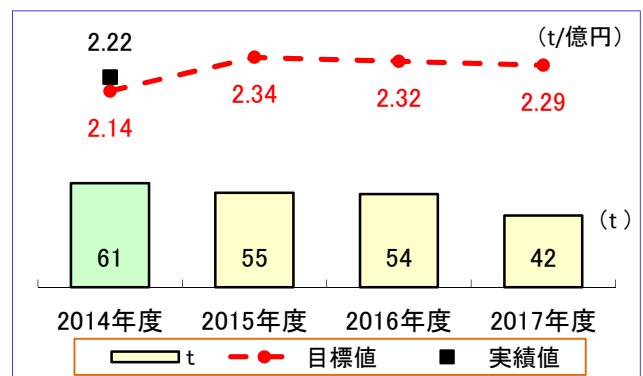
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量

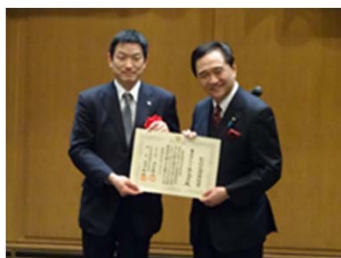


コミュニケーションの紹介

<2014年度受賞関係>

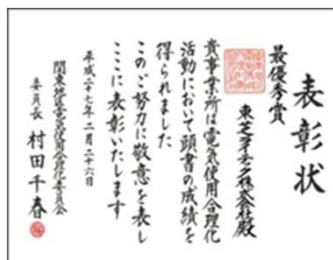
○平成26年度かながわ地球環境賞

受賞対象「東芝ライテックにおける環境保全活動」  
ハマカンゾウの生息域外保護、小学生への環境教育、事業活動における環境負荷低減などが認められ受賞



○関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞 受賞

受賞対象「横須賀における電気使用合理化活動」  
ガス炊き冷温水機からインバータ空調機に更新した事で2014年度のCO<sub>2</sub>排出量を400t削減した事を評価され受賞



<構内外一斉清掃>

横須賀地区の建屋裏手は雑草が多く、また家庭ごみ、空き缶、弁当殻などのゴミが多々見られます。CSR活動の一環として年一回清掃活動を実施しています。

実施日：2014-10-17  
参加人員：75名  
集められたゴミ：72袋



<小学生環境学習>

2007年より近隣小学校（5学年）を対象に環境学習をスタートし今年で8回目です。地球温暖化やLED照明の講義、風船を液体窒素に入れた実験や排水浄化の実験、社内の環境施設見学を実施しました。当日はPTAの方々も見学に訪れました。

日時：2015年2月12日  
参加人員：108名



生物多様性の取組み

指標種(保護種)の選定

指標生物	指標生物の希少性
ハマカンゾウ	希少植物



ビオトープの概要

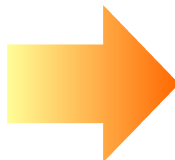
2012年5月に神奈川県所有の三浦半島、小網代の森にて盗掘被害に遭って減少しているユリ科の植物「ハマカンゾウ」28株を神奈川県の許可を得て当事業所に移植した。



2014年5月、整備後オープン前の小網代の森に100株に増やしたハマカンゾウを返還した。



2014年5月、小網代の森にて盗掘を免れた100株を発見。当社で新たに保護を開始。



2カ所に分け、生育開始

2015年開花の様子